福島第一原発の廃炉・汚染水対策 の状況について

平成28年3月27日 廃炉・汚染水対策チーム

汚染水対策の進捗と今後の見通し

これまでの取組と成果 今後の見通し (~2016年3月) 建屋への地下水流入量を 敷地舗装88%完了 地下水バイパス稼働【2014.5~】 サブドレン稼働【2015.9~】 凍十壁 (陸側遮水壁) 閉合 100㎡/日未満に抑制 建屋への 【2016.2時点】 【2016年度内】 近づ 地下水流入量 ●:地下水ドレン■:第一段階における未凍結箇所 け 約300㎡/日 約400㎡/日 約200㎡/日 な (2011.6~2014.5) ※汚染水発生量については、建屋への地下水流入量に加え、地下水ドレンなどの建屋海側の井戸から建屋への移送量も影響するが、凍土壁 (陸側遮水壁) の閉合等に伴い、減少する見込み。 水ガラスによる地盤改良 海側遮水壁閉合 周辺海域の 溶接型タンクの増設 4 [2014.3] [2015.10] 1 2 3 放射性物質濃度 ※処理水用タンクの総容量約83万~のうち ※これに伴いウェルポイントからの汲み ※これに伴い地下水ドレンからのくみ上 約73万5 (約9割)【2016.2時点】 上げを開始【2013.8】 げを開始【2015.11】 5 凍土壁(山側 さな 検出限界値 約1万Bq/L 地下水の流れ <平面図> (2011.3) (0.59Bq/L)未満 ※南放水口付近の (2016.2)セシウム137の値 <断面図> (月平均) タンク内汚染水の処理が概ね完了【2015.5】 敷地境界の トレンチ内汚染水の 地下水バイパス 処理が全て完了【2015.12】 追加的な →累計約76万 m³ 取 実効線量 →累計約1万m3 ŋ ※更なるリスク低減の観点から、ALPS処理を継続。 水ガラス による 凍土壁 (山側) 除 約11mSv/年 1mSv/年 (2011.3)ALPS処理水の長期的取扱いの検討【2016年度上半期~】 (2016.3の見込み)

建屋内滞留水処理

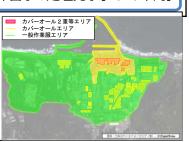
1号機タービン建屋を循環注水ラインから切り離し【2016.3】

建屋内滞留水の処理完了【2020年内】

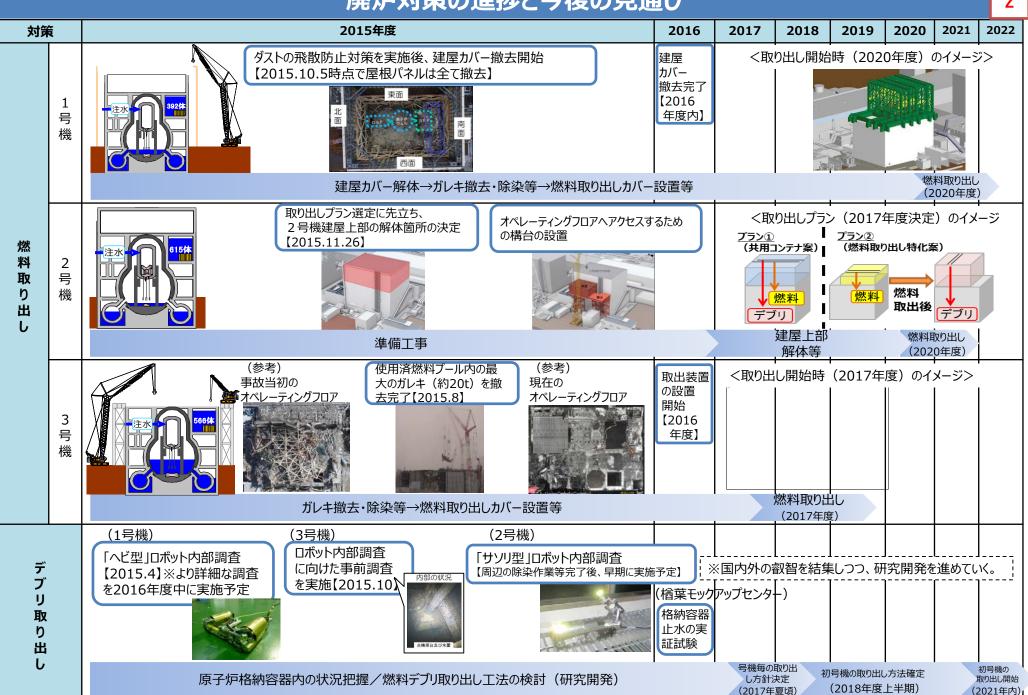
<その他>

- K排水路の港湾内への付け替え【2016.3】
- ○廃棄物の処理処分に関する基本的な考え方のとりまとめ【2017年度内】

○一般作業服着用可能エリアの拡大【2016.3】



廃炉対策の進捗と今後の見通し



情報発信の強化①(広報コンテンツの充実)

- 地元との協議(「廃炉・汚染水対策福島評議会」)等を経て、廃炉・汚染水対策の進捗状況などを伝える動画、パンフレットを作成し、周知・配布を進めている。
- 今後とも、風評被害の払拭、国内外の理解の促進の観点から、地元はもとより、報道機関、諸外国、国際機関等に対し、更なる情報発信を進めていく。

<動画「福島の今」>



<パンフレット「廃炉の大切な話」>



【参考】上映先等

- > 英語版
- ・IAEA総会で上映。
- ・高木経済産業副大臣から、G20エネルギー大臣会合/貿易大臣会合等の場で各国要人に手交。
- ・在外公館にも配布。
- ▶ 日本語版
 - ・地元での説明会等の場で配布。
 - ・全国の都道府県庁、地方経産局へ周知。

【参考】配布先(主に以下宛先に、20万部以上を配布)

- > 福島県
 - 県庁
 - •県内全市町村
 - ·県立高校
 - •県立医大
 - ・商工会、農協、漁協など
- > 福島県以外の都道府県等
- •都道府県庁
- ・地方経産局など

情報発信の強化②(第1回 福島第一廃炉・国際フォーラムの開催)

- 事故後5年という節目に、廃炉に関する国内外の叡智を福島に集約・発信すべく、国際イベントを開催。
- 期間は4月10日(日)~11日(月)、場所はいわき市スパリゾートハワイアンズ。(参加規模: 400名程度)

会議プログラム ~福島に国内外の叡智を結集させる~

■ 初日(廃炉を巡る国内外の実情:4/10(日))

テーマ	プレゼンター
開会挨拶 基調講演	○政府 ○原賠・廃炉機構 ○OECD/NEA、IAEA
海外での廃炉に関する地域社会と のコミュニケーション経験を共有	○海外の廃炉関係機関、地元関係者等
1F廃炉の現状と将来展望 - 地域との関わりを中心に-	○東京電力、地元有識者、国際機関等
廃炉に貢献した作業チームへの感謝状授与	
ネットワーキングセッション	

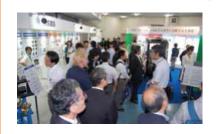
■ 2日目(1 F廃炉の課題と今後:4/11(月))

テーマ	プレゼンター
特別講演	○海外の廃炉関係機関等
テクニカルセッション:技術的な課題の克服・解決に向けた専門的な議論	
リスク評価	
デブリ取り出し	│ ○分野毎の国内外専門家 │ │
廃棄物対策	

ショーケース ~ビジネスチャンス創出、風評被害払拭~

■ 「廃炉技術展」: 4/10(日)~4/11(月)

- ○国内外の企業、研究機関など約40団体が、廃炉に関わる研究開発の成果を出展。
- ○あわせて、福島第一原発に導入されたものと同型、又は、今後導入 予定のロボット等を展示・実演。







■ 地元参画による「特別展」: 4/10(日)~4/11(月)

- ○福島県や地元団体による復興展示等を実施。
- ○休憩時間、ネットワーキングセッションにおいて地元産品をケータリング。





